

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	教育心理学 [Educational Psychology]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	410410	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	福富 隆志				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) D P3(5)	
授業概要	<p>本授業の目的は、教育心理学の知見や考え方を学ぶことを通じて、教育実践を批判的に検討できる眼と、将来的に教育に携わった場合に必要な実践力の基礎を身につけることです。</p> <p>そこで本授業では、教育心理学を「教育に関する『問い』」に対する心理学的アプローチの総称」と位置づけ、これまで蓄積されてきた知見や考え方を、「学習」と「教育実践」の視点から概説します。さらに、自分自身の体験や教育心理学の理論をもとに、教育に関する様々な問題を考え、意見交換することで、教育に関する考察を深める機会も設けます。</p>						
関連する科目							
授業の進め方と方法	講義を中心としながらも、映像視聴、グループ討論と意見の発表、課題の実施、質問紙への回答など、積極的に参加してもらおう工夫をしたいと思います。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育心理学の理論と方法</li> <li>2. 学習とは何か</li> <li>3. 知識の獲得1: 短期記憶</li> <li>4. 知識の獲得2: 知識の種類と構造</li> <li>5. 問題解決と思考1: 問題解決プロセス</li> <li>6. 問題解決と思考2: 論理的思考とクリティカル・シンキング</li> <li>7. 学習意欲1: 「やる気の持論」を考える</li> <li>8. 学習意欲2: 動機づけ理論と教育実践</li> <li>9. 適応と障害</li> <li>10. 教育の方法: 学習者中心の教育とは</li> <li>11. 教育環境と教師1: 教師の成長を促す環境</li> <li>12. 教育環境と教師2: 「個」を尊重する教育とは</li> <li>13. 教育の評価1: 教育評価観を考える</li> <li>14. 教育の評価2: 問題解決としての評価</li> <li>15. 教育相談: 教育とカウンセリング</li> </ol> 定期試験						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習と教育実践に関する重要な理論について理解する。</li> <li>2. 学習に関する教育心理学の知見と考え方を踏まえて、現在に至るまでの自分自身の学びを振り返り、その特徴を意味づけることができる。</li> <li>3. 教育心理学の知見と考え方を踏まえて、「学習者中心の教育」についてのまとまった論考を作成できる。</li> <li>4. 「良い教育実践とは何か」について、教育心理学の内容を踏まえて、自分の考えを表現できる。</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>[予習] 次回の授業範囲に関する資料を事前に熟読し、次回の講義内容の概略を把握すると同時に、専門用語の意味等を調べておくこと(1時間)</p> <p>[復習] 授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること(1時間)、また授業時に示す課題に取り組むこと(1時間)</p>						
課題に対するフィードバック	授業内課題やレポートについては、提出された回答をいくつか取り上げながら、解説を行います。	評価方法			<ol style="list-style-type: none"> <li>① 定期試験: 50%</li> <li>② レポート: 30%</li> <li>③ 授業内課題: 20%</li> </ol>		
テキスト	特に用いません。毎回授業内容に応じた資料を作成し、配布します。						
参考書	鹿毛雅治(編著)『発達と学習』(2018, 学文社) 安藤寿康・鹿毛雅治(編著)『教育心理学』(2013, 慶應義塾大学出版会) その他、必要に応じて図書、資料を紹介します。						
備考							